

平成31年度 一人一人の確かな学力のために

4年

		学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学期末、学年末のテストで90点以上を合格として、9割以上の児童が合格できることを目指します。そのために、ペアで進出漢字の書き順や熟語を確認したり、小テストを行ったりして習得率を高めます。</li> <li>表現したいことをはっきりさせて、理由や例を用いて書いたり、発表したりできるように文章指導を行います。また、既習漢字を使って書く力を高めるように指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字ミニテストを定期的実施し、平均点は約70点でした。5月・6月の漢字の50問テストでも同じく平均点が約70点でした。</li> <li>文章で表現する際に、主語・述語の関係が成り立っている児童は増えましたが、誤字脱字や既習の漢字を平仮名で書く児童が4割程度います。今後は、自分で書いた文章を読み返したり、国語辞典や漢字辞典を使って既習漢字を調べたりすることを指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週に1～2回程度実施した漢字ミニテストでは、3学期は平均点が約80点でした。1学期、2学期の自分のミスを振り返り、着々と平均点が伸びました。2学期末の50問テストの平均点は約83点でした。学年末テストを2月25日の週以降に実施し、平均90点以上の点数を目指します。</li> <li>文章や作品を作ることに意欲的に取り組んでいます。読み合ったり、読み直したりして修正することができるようになってきました。しかし、既習漢字の活用には努力が必要な児童が2割程度いますが、国語辞典を使って漢字を調べられるようになりました。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算ドリルをくり返し活用して、既習事項の定着を図ります。必ず答え合わせを行って間違いを直す習慣を付けられるようにします。</li> <li>補習タイムの時間には東京ベーシックドリルを活用して、3年生までの基礎的な学習内容の習得を目指します。東京ベーシック診断テストにおいて、9割の児童が90点以上獲得できることを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数の時間や家庭学習を中心に計算ドリルに取り組みました。授業の初めに実施状況を確認したところ、コースによって提出率に差がありました。忘れずに取り組めるよう引き続き指導します。</li> <li>東京ベーシックドリルを補習タイムの時間に取り組みました。4月の前半の診断テストの結果、平均点は72.5点で、得点が90点以上の児童は、全体の1割でした。6月末の診断テストでは、平均点は68.2点で、平均点は下がりましたが、得点が90点以上の児童は全体の2割に増えました。今後も、ベーシックドリルを活用して基礎計算の復習をし、正しく理解できるように繰り返し指導し、9割の児童が90点以上獲得できるよう指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の授業での宿題を必ず提出できた児童が、学年全体で9割になりました。しかし、間違えた問題を解き直しを必ず行う児童は、5割程度でした。</li> <li>11月末に行った診断テストでは、平均点が78.6点でした。補習タイムでは3学期前半は、診断テストで習得率が低かった単元の練習問題を取り組みました。後半は4年生の学習内容を計算ドリルやプリントを活用して復習しました。診断テストを再度行い、9割の児童が90点以上獲得し、既習事項を確実に理解できることを目指します。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館を活用して、週1回程度図書貸し出しを行い、読書に慣れ親しませませす。普段から、すぐに本を取り出し活用することができるようマイブックを用意します。また、「読書ちよきん箱」に読んだページ数を記録させ、全員が年間7000ページを達成できるようにします。</li> <li>自然事象についての興味・関心を高め、知識を身に付けさせるために、ゲストティーチャーを招いて、篠崎公園にて年間4回校外学習を行います。</li> <li>タイピングソフトを活用し、全員の児童がキーボードによるローマ字入力ができるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイブックを準備し、自ら読書活動を行う児童が増えました。6月末で1500ページ以上本を読んでいる児童が6割程度います。また、読書科の学習を通して、本を使って調べ、まとめることに意欲的な児童が増えました。</li> <li>ゲストティーチャーを招き、篠崎公園での校外学習を行い、自然の様子に目を向けて、校内の植物の変化を見付けようとする児童が増えました。夏、秋、冬も行い、自然の移り変わりに着目できるようにしていきます。</li> <li>タイピングソフトを活用し、タイピング練習に取り組んでいます。ローマ字を確実にするとともに、90秒以内に五十音入力ができるように指導を続けます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書の時間は、静かに読書に親しんだり、読書科の活動を行ったりしてきました。年間7000ページの目標に到達した児童は約6割ですが、あとの児童もいます。</li> <li>理科の自然観察は、篠崎公園での校外学習を計3回と特別授業を2回行うことができ、自然事象についての関心が高まった児童が増えました。実験・観察にも意欲的に取り組んでいます。</li> <li>練習を繰り返し、ローマ字入力で検索したり、作品を作ったりすることができるようになりました。まだ、ローマ字を確実に理解できていない児童が2割程度いるので、今年度中に読んだり書いたりできるように指導します。</li> </ul>
思考力・判断力	思考力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に対して、予想を立てて追求していく学習方法が身に付けられるよう、学習のめあてや課題をもち、振り返るという活動を継続的にを行います。また、考えたことを自分の言葉で書いて表現することを積み重ねます。</li> <li>自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、クラス内や小グループでの話し合い活動を積極的に取り入れ、自分の考えたことを伝え合うように指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の初めにめあてをノートに書き、声を出して読むことで学習の見通しがもてるように指導しました。振り返りの時間が取れないことがあるので、今後は時間を設けられるよう指導時間を改善します。</li> <li>様々な教科で小グループやクラスで自分の考えを伝える活動を行いました。伝え合いのなかで、新しい考えを学んだ児童は、ノートに友だちと考えとして追記していました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてや課題に対して、予想や仮説をもち学習に取り組む児童は8割ほどです。振り返る際に学習について具体的に考えを書ける児童も7割ほどになってきました。引き続き指導していきます。</li> <li>小グループでの活動では、自分の考えを積極的に伝え合う姿が多く見られ、意見を伝えることができる児童は8割ほどになりました。国語でのポスターセッションや、社会の学習のまとめでは、グラフや表・写真などを使って上手にまとめられる児童が増えました。</li> </ul>
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>話すこと、聞くことの大切さを意識化させるために、聞いている人の方を向いて話すこと、相手の話を受けて話すこと、話している人の方を向いて聞いたりメモを取りながら聞いたりすることを指導していきます。</li> <li>既習事項の定着を図るために、宿題提出率100%を目指し、自主学習に進んで取り組めるようにします。毎週末に自主学習を行う機会を設定し、よく取り組んでいる児童のノートを紹介して、段階的に自主学習の取り組み方やその内容を指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞くときに、聞いている人の方を向いて聞ける児童もいますが、多いとは言えません。引き続き指導していきます。</li> <li>宿題提出率は80%程度です。今後も、提出状況を確認し本人に伝え、提出率100%を目指して指導を続けます。週末の自主学習では、テストに向けた学習や、興味のある分野の調べ学習などに取り組む児童が増えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理科の自然観察の時には、講師の先生の話聞きながらメモをする児童がほとんどです。授業中にVTRを活用した際にも、積極的にメモを取る児童が多くなりました。話を聞くときの姿勢も良くなりましたが、引き続き指導します。</li> <li>宿題の提出率は90%程度でした。提出状況を確認したり、本人に伝えたりして少しずつ向上しました。自主学習は、自分で決めた学習量で継続して行う児童が増えました。自分の苦手な箇所をノートにまとめ、理解を確実にしようと努力する児童が増えました。</li> </ul>